全日病発　第18号
2026年４月13日

各　位

公益社団法人　全日本病院協会
会　長　神野　正博
広報委員会
委員長　宮地　千尋

「2026年度 医療ＤＸ人材育成プログラム」開催のご案内

平素は、本会事業活動につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2026年度診療報酬改定と医療ＤＸ関連補助金の動向は、中小病院にとって電子カルテが「経営課題」から「生き残りを左右する要因」へと変化していることを示しています。今回の改定の本質は、医療機関相互がデータで“つながること”が評価される時代に入った点にあります。また、電子カルテにとどまらず、医療ＤＸは病院経営の効率化及び人材不足対策に直結する重要な課題となっております。

こうした背景を踏まえ、病院ＤＸを主体的に推進できる人材の育成を目的として、2026年度「医療ＤＸ人材育成プログラム」を下記のとおり開催いたします。

今回は、自院での医療ＤＸ実装を推進するために必要な病院ＤＸ推進リーダーの養成を目指し、以下の内容を中心に体系的に講義を行う予定としております。

（１）ＤＸ関連補助金と診療報酬改定の正しい理解
（２）オンプレミスからクラウドネイティブへの現実的な移行
（３）現場に定着するスマートフォン導入の進め方
（４）ＲＰＡやコマンドセンターによる業務改革
（５）生成ＡＩの実践的導入法

本プログラムは、Ｚｏｏｍを利用したオンラインライブ形式で実施いたします。

１病院につき３名までの受講を可能とし、受講対象者は、①院内システム担当者、②自院の業務フローを熟知した医療職、③経営に関わる方のチームで参加いただくことを推奨しております。

また、本プログラムの所定の課程（全10回の内８回以上の出席、３回の確認テスト合格）を修了した受講者に対し、「全日本病院協会認定　医療ＤＸ責任者」として認定し、「修了証」を授与いたします。

なお、本プログラムは、厚生労働省人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」の対象講座となっております。助成金申請手続きの上、支給要件を満たした場合、研修経費や研修期間中の賃金の一部等の助成を受けることが可能です。

詳細については、添付資料をご高覧いただき、ご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

各医療機関におかれましては、業務ご繁忙中のことと拝察いたしますが、関係者の受講につき、格段のご高配を賜りますようご案内申し上げます。

「2026年度 医療ＤＸ人材育成プログラム」実施要領

１．主　催：公益社団法人　全日本病院協会

２．共　催：一般財団法人　日本医療教育財団
　　一般社団法人　介護・医療・見える化・効率化協会（ＶＯＥＭ）

３．開催日時：2026年７月９日（木）～2026年11月26日（木）　全10回
　　※開催スケジュールおよびプログラムについては「別紙」をご参照ください。

４．開催方法：「ＷＥＢ」（Ｚｏｏｍ）によるＬＩＶＥ配信形式
　　※メールにてＺｏｏｍでの参加に必要なＵＲＬ等を送付いたします。
　　Ｚｏｏｍでのご参加にあたり、「５．ＷＥＢ受講環境」をご参照ください。

５．ＷＥＢ受講環境
○Ｚｏｏｍへの参加にはインターネット環境が必須になります。
○快適な視聴状況を保つため、安定したインターネット接続（有線ＬＡＮ推奨）でご参加ください。
※無線ＬＡＮ（Ｗｉ-Ｆｉ）接続による受講トラブルが数多くございます。やむを得ず、無線ＬＡＮ（Ｗｉ-Ｆｉ）接続でご参加される場合、必ず容量制限のない環境でご参加ください。無線ＬＡＮ（Ｗｉ-Ｆｉ）接続により、受講トラブルが発生した場合、責任は負いかねますので、ご了承ください。（接続不良による欠席扱い含む）
※出欠はＺｏｏｍのログや確認テストで確認いたしますので、１名につき１台のパソコン等通信端末をご用意ください。スマートフォンによる受講はできる限りご遠慮ください。

６．受 講 料　会　員：250,000円（税込）／１医療機関
　　非会員：500,000円（税込）／１医療機関
　　※１医療機関につき３名まで受講可。
　　※複数名の受講を希望の場合は、１名ずつ受講者情報が必要となります。
　　（振込については医療機関ごとに入金）

７．定　　員：150医療機関（最大450名）　※先着順

８．修了認定：所定の課程（全10回の内８回以上の出席、３回の確認テスト合格）を修了した受講者に対し、「全日本病院協会認定　医療ＤＸ責任者」として認定し、「修了証」を授与いたします。

９．申込方法

①全日本病院協会ホームページ（https://www.ajha.or.jp/）より「教育研修」を選択し、本研修の申込み画面をお開き下さい。

②研修申込み画面より必要事項を入力し、受講者情報を送信してください。
※送信後、ご登録頂いた事務連絡担当者メールアドレスへ事務連絡メールが届きますのでPCからのメールを受信できるアドレスを記入してください。

③事務連絡担当者のメールアドレスへ振込先等を記載した参加確定・入金依頼メールが届きます。送付された案内をご確認のうえ、受講費を指定期日までにお振込ください

④厚生労働省人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」を活用する場合は、６月８日（月）までに所定の申請書類を各都道府県労働局窓口までご提出いただく必要があります。申請方法については申込受付メールに記載されたＵＲＬより、「人材開発支援助成金の申請方法」をご参照ください。

10．申込締切日：2026年５月22日（金）　※定員に達し次第、締切となります。

11．取消し等：登録情報や参加者の変更、キャンセルにつきましては、下記問い合わせ先のメールアドレスまでご連絡ください。
※ご入金後の参加費返金はいたしかねますのでご了承ください。

12．そ の 他

・当日、受講できない場合は、必ず研修担当者までメールにてご連絡ください。
ご連絡がない場合は、自己都合による欠席として扱います。

・参加申込の際にお送りいただいた個人情報は適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。

【問い合わせ先】

公益社団法人　全日本病院協会　事務局（広報委員会担当：濱本、半田）

〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町1-4-17　東洋ビル11階

Ｅ－Ｍａｉｌ：ajha-soumu@ajha.or.jp

厚生労働省 人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」対象講座

公益社団法人 全日本病院協会

2026年度 医療DX人材育成プログラム

本年度は、医療DX推進の要となる人材「コンダクター」の育成、生成AIやクラウド活用による業務の効率化・高度化、現場での実装・運用力の習得を目指し、所定の課程を修了した受講者を「全日本病院協会認定 医療DX責任者」として認定いたします。条件を満たせば、厚生労働省 人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」も活用することができ、研修費用を大幅に軽減することが可能です。

医療DXは「構想」から「実装」へ ― 制度も評価も大きな転換期に突入 ―

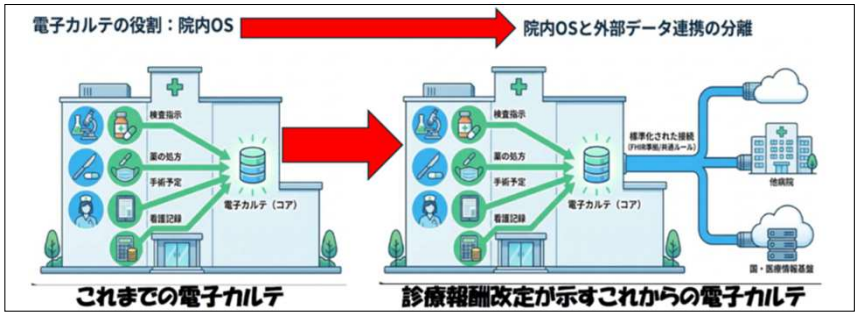
2026年度診療報酬改定により、医療DXは「構想」から「実装」の段階へと移行したことが明確に示されました。

医療情報は院内で完結するものから、医療機関同士がつながる基盤へと変化しつつあります。こうした変化の中で、電子カルテも図1で示すように「院内の業務システム」から「全国基盤と接続する中核」へと役割を変えつつあり、クラウド化や標準化への対応は、もはや単なるIT選択ではなく制度適応となっています。

本プログラムでは、医療DX推進の要となる人材「コンダクター」の育成を軸に、生成AIの活用方法やクラウドネイティブへの対応などについて体系的に学びます。さらに、他院事例も交えながら、現場での実装や運用に直結する実践的な内容を提供し、より具体的に「自院で何から始めるべきか」を考えられる構成としています。

DXを外部任せにするのではなく、自院で判断し、継続的に運用できる人材を育成するための実践的な講義を行います。

［図1］電子カルテの役割の変化



〔関連記事〕 全日病講習会 2026年度医療DX人材育成プログラム解説
［診療報酬改定が示す「医療情報の新しい国家戦略」と中小病院の電子カルテ戦略］ （全日病ニュース2026年4月1日号）
https://www.ajha.or.jp/mail tmp/260409/260409 5.pdf

助成金活用で研修費用を大幅軽減！

本プログラムは、厚生労働省 人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」の対象講座となっており、助成金活用で研修費用を大幅に軽減できます。会員病院の場合、申請条件を満たせば、**最大で「262,400円」の補助が受けられます。**[※1]

（受講料は一括前払いでお支払いいただきますが、研修全日程終了後に助成金支給申請の手続きを行うことで施設規模や受講実績等に応じた研修経費や賃金の一部等の助成を受けることが可能です。）

※1 施設規模100人以下（中小企業区分）の事業者より3名が受講し、全員が総研修時間（25時間）を欠席することなく受講した場合（裏面参照）

研修日程
2026年7月9日～11月26日（全10回）

研修方式
同時双方向型のオンライン研修（Zoom）

※本プログラムはEラーニング形式の研修ではございませんので、賃金助成を受けるためには右記の研修スケジュール（開催日時）通りにご受講いただく必要がございます。

受講料 ＜3名までご受講いただけます＞
250,000円（会員病院）／ **500,000円**（非会員病院）

※条件を満たせば助成金が活用でき、研修費用を大幅に軽減してご受講いただけます！（詳しくは裏面をご参照ください）

研修スケジュール

開講回	開催日時		メインテーマ（予定）
第1回	2026年 7月 9日（木）	13:00 ～ 15:30	総論
第2回	2026年 7月23日（木）	13:00 ～ 15:30	国の政策
第3回	2026年 8月 6日（木）	13:00 ～ 15:30	電子カルテ
第4回	2026年 8月20日（木）	13:00 ～ 15:30	セキュリティー
第5回	2026年 9月10日（木）	13:00 ～ 15:30	共通基盤とファイル共有
第6回	2026年 9月24日（木）	13:00 ～ 15:30	モバイル
第7回	2026年10月15日（木）	13:00 ～ 15:30	生成ＡＩ
第8回	2026年10月29日（木）	13:00 ～ 15:30	データ活用
第9回	2026年11月12日（木）	13:00 ～ 15:30	コマンドセンター
第10回	2026年11月26日（木）	13:00 ～ 15:30	地域医療、総括

本研修のお申込み・ご不明点につきましては、下記までご連絡ください。

公益社団法人 全日本病院協会 事務局（広報委員会担当）
TEL:03-5283-7441 E-Mail : ajha-soumu@ajha.or.jp

厚生労働省　人材開発支援助成金
（事業展開等リスキリング支援コース）

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。「事業展開等リスキリング支援コース」では、新たな事業の立ち上げなど事業展開等に伴い必要となる知識および技術を習得させるための訓練を助成の対象にしています。

厚生労働省 人材開発支援助成金
事業展開等リスキリング支援コースの詳細はこちら
https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001687620.pdf

人材開発支援助成金 シミュレーション

※受講料250,000円の場合

施設規模※1	経費助成	賃金助成	助成金合計	受講料ー助成金合計
100人以下 中小企業区分	（1人あたり受講料の75%） （受講料÷申込人数×助成率）×受講人数※3 100円未満切捨 最大 187,500円 ※受講人数が3人の場合･･･187,400円	（1,000円×25時間※2×受講人数※3） 3人の場合･･･ 75,000円 2人の場合･･･ 50,000円 1人の場合･･･ 25,000円	 262,400円 237,500円 212,500円	 ▲12,400円 12,500円 37,500円
100人超 大企業区分	（1人あたり受講料の60%） （受講料÷申込人数×助成率）×受講人数※3 100円未満切捨 最大 150,000円 ※受講人数が3人の場合･･･149,900円	（500円×25時間※2×受講人数※3） 3人の場合･･･ 37,500円 2人の場合･･･ 25,000円 1人の場合･･･ 12,500円	 187,400円 175,000円 162,500円	 62,600円 75,000円 87,500円

※1 施設規模（企業区分）の判定については、全プログラム終了後に各都道府県労働局へ提出する支給申請書類の内容により決定します。
※2 本プログラムの総研修時間（実訓練時間）は25時間を予定しております。[各回2.5時間×10回実施]
※3 受講人数とは、人材開発支援助成金の受給要件を満たしている受講生の人数を表します。[実訓練時間数の8割以上（20時間以上）であることが必要]
申込人数のうち実訓練時間数が8割未満の受講生は人材開発支援助成金の支給対象としてカウントできません。

人材開発支援助成金　手続きの流れ

人材開発支援助成金の手続き

申請の前提（支給要件）
- 支給対象となる事業主・労働者のチェック
  - ・社内の職業能力開発推進者の選任
  - ・社内の事業内職業能力開発計画の策定　　など

相談 ↔ 各都道府県労働局 または ハローワーク

① 訓練実施計画届の提出
- 各種様式（様式第１－１号など）の作成
- 各種様式に必要書類を添えて各都道府県労働局へ提出
  - ※提出期限：２０２６年６月８日（月）厳守
  - ※申請手続きは雇用保険適用事業所単位もしくは本社がまとめて行うことも可能

提出 →

② 訓練の実施等
- 医療ＤＸ人材育成プログラムの実施（全１０回）
  - ※実施期間：２０２６年７月９日～１１月２６日

③ 支給申請書の提出
- 訓練終了日の翌日から起算して２か月以内に「支給申請書（様式第４－２号）」と必要な書類を労働局に提出

提出 →

④ 助成金の支給決定または不支給決定
支給審査の上、支給・不支給を決定
（審査には時間を要します）

← 支給・不支給の通知

人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）の詳細につきましては、各都道府県労働局 または ハローワークへ直接お問い合わせください。

また、本プログラムの助成金申請支援担当窓口を下記の通り設置し、申請書類の記入等に関するご支援もさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

公益社団法人 全日本病院協会
2026年度 医療DX人材育成プログラム

【人材開発支援助成金に関する問合せ先】

＜助成金申請支援窓口＞
一般財団法人 日本医療教育財団

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-9
駿河台フジヴュービル6F

E-Mail
kensyu2026dx@jmeworks.com

2026年度全日病DX講習会スケジュール（予定）

	日付	内容	時間	項目	詳細	
1回	7/9　木	総論	13:00～13:05	開会挨拶		宮地 千尋（全日本病院協会 広報委員長）
			13:05～13:20	開講ガイダンス	①プログラムの進め方 ②Zoom受講について ③認定要件　　ほか	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			13:20～14:20	講義（前半）	事例１ 恵寿総合病院［DX化が最も進んだ病院］	神野 正博（社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長）
			14:20～14:25	休憩		
			14:25～15:15	講義（後半）	医療DXの現状（世界と日本）	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
2回	7 /23　木	国の政策	13:00～14:05	講義（前半）	特別講義 国のDX戦略	内山 博之（内閣府 健康・医療戦略推進事務局長）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	医療DXと診療報酬改定など	分部 唯宇（株式会社ヘンリー） 高橋泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
3回	8/6　木	電子カルテ	13:00～14:05	講義（前半）	電子カルテ論	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	事例２ 正幸会病院［日本初クラウドネイティブ病院 ］	東 大里（医療法人正幸会 正幸会病院 理事長・院長）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
4回	8/20　木	セキュリティー	13:00～14:05	講義（前半）	セキュリティー１	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	セキュリティー２	竹下 康平（株式会社ビーブリッド 代表取締役）
			15:15～15:25	復習テスト	医療DX確認テスト①	
			15:25～15:30	テスト解説	医療DX確認テスト①の解説	
5回	9/10　木	共通基盤と ファイル共有	13:00～14:05	講義（前半）	共通基盤（クラウドワークスペースなど）	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	事例３ 京都桂病院［共通基盤を使いこなす病院］	加納 和哉、山下 友樹 （社会福祉法人京都社会事業団 京都桂病院）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
6回	9/24　木	モバイル	13:00～14:05	講義（前半）	モバイル活用基盤から運用まで	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授） 佐伯 潤（社会医療法人石川記念会 HITO病院）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	事例４ HITO病院 ［モバイルコミュニケーション］	石川 賀代（社会医療法人石川記念会 HITO病院 理事長）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
7回	10/15　木	生成AI	13:00～14:05	講義（前半）	AI、生成AI入門	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	生成AIの活用	長 英一郎（東日本税理士法人 代表）
			15:15～15:25	復習テスト	医療DX確認テスト②	
			15:25～15:30	テスト解説	医療DX確認テスト②の解説	
8回	10/29　木	データ活用	13:00～14:05	講義（前半）	データ管理（医師事務補助者、診療情報管理士）	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	事例５ 谷田病院［院内データの利活用］	藤井 将志（特定医療法人谷田会 谷田病院）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
9回	11/12　木	コマンドセンター	13:00～14:05	講義（前半）	自前システム構築とコマンドセンター運用	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授） 笹森 大輔（社会医療法人医翔会 札幌白石記念病院 理事）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:15	講義（後半）	事例６ 墨東病院［コマンドセンターと病院改革］	足立 健介（東京都立墨東病院 院長）
			15:15～15:25	復習テスト	講義内容振返りテスト	
			15:25～15:30	テスト解説	講義内容振返りテストの解説	
10回	11/26　木	地域医療	13:00～14:05	講義（前半）	事例７ 織田病院［DXと地域医療］	織田 正道（特定医療法人祐愛会織田病院 理事長）
			14:05～14:15	休憩		
			14:15～15:10	講義（後半）	総括	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院教授）
			15:10～15:20	復習テスト	医療DX確認テスト③	
			15:20～15:25	テスト解説	医療DX確認テスト③の解説	
			15:25～15:30	閉講ガイダンス	事務連絡、講義振返りアンケート、ほか	